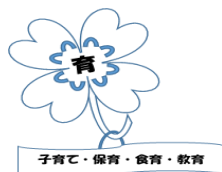


# 平成29年度全国学力・学習状況調査結果について (地域・保護者用)



平成29年9月作成  
遠野市教育委員会

平成29年4月18日に実施された全国学力・学習状況調査の集計結果について、文部科学省から提供されたことから、地域・保護者向けに、その概略的な分析等を公表します。

## 1 調査の目的（実施要領から抜粋）

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

## 2 調査の対象とする児童生徒

- (1) 小学校調査：小学校第6学年，義務教育学校前期課程第6学年，特別支援学校小学部第6学年
- (2) 中学校調査：中学校第3学年，義務教育学校後期課程第3学年，特別支援学校中学部第3学年

## 3 調査事項（本体調査）

### (1) 児童生徒に対する調査

#### ① 教科に関する調査

小学校調査は、国語・算数，中学校調査は、国語・数学

※ 国語・算数・数学の調査は、「主に知識に関する問題 A」（以下「知識問題」）と「主に活用に関する問題 B」（以下「活用問題」）の両面から基礎・基本の定着状況について行われた。

#### ② 質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施した。

### (2) 学校に対する質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施した。

## 4 遠野市における公立小中学校の調査対象

### (1) 調査学校数

小学校：対象校市内11校全校参加      中学校：対象校市内3校全校参加

|          |     |      |      |      |     |      |
|----------|-----|------|------|------|-----|------|
| (2) 調査人数 | 小学校 | 国語A  | 196人 | 中学校  | 国語A | 215人 |
|          |     | 国語B  | 196人 |      | 国語B | 216人 |
|          | 算数A | 196人 | 算数B  | 196人 | 数学A | 216人 |
|          |     | 算数B  |      | 196人 | 数学B | 216人 |

## 5 調査実施日

調査の実施日は、平成29年4月18日（火）

## 6 遠野市の調査結果の概要

### 【留意点】

※教科に関する調査は、調査問題数や問題の内容が違うことから、過年度の調査結果と単純に比較することはできないものであること。

※本調査問題は、標準化された学力状況を問う問題ではなく、これまでの調査で見られた課題についての改善状況を把握する観点から出題された問題であること。

※地域や家庭との連携により、より教育的効果が図られる点を中心にした分析であること。

※学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるための分析及び結果の情報提供は、遠野市教育委員会から各学校へ行っているものであること。

※調査結果は、学力の特定の一部であること。

### （1）教科に関する調査結果から

#### ① 正答率等の概要

- ・ 小学校国語A問題：概ね全国平均
- ・ 小学校国語B問題：概ね全国平均
- ・ 小学校算数A問題：概ね全国平均
- ・ 小学校算数B問題：概ね全国平均
- ・ 中学校国語A問題：概ね全国平均
- ・ 中学校国語B問題：全国平均を下回る
- ・ 中学校数学A問題：全国平均を下回る
- ・ 中学校数学B問題：全国平均を下回る

※「概ね全国平均」＝全国平均正答率の±5ポイント内

※「全国平均を上回る」＝全国平均正答率の+5ポイント以上

※「全国平均を下回る」＝全国平均正答率の-5ポイント以上



## ② 各教科の成果と課題

### ア 小学校 国語

A問題では、書くこと領域の「手紙の構成を理解し、後付けを書く」、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項領域の「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く（参加たいしよう）、（箱がおいてあります）」は、よくできています。一方、読むこと領域の「目的に応じて、文章の中から必要な情報を見付けて読む」、読むこと領域及び伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項領域の「俳句の情景を捉える（グループの話し合いを通して見つけた俳句のよさとして適切なものを選択する）」に課題があります。

B問題では、話すこと・聞くこと領域の「動画を見る目的を捉えることを通して、目的や意図に応じ、適切な言葉遣いで話す」、書くこと領域の「目的や意図に応じて、文章全体の構成を考える」、「目的や意図に応じ、引用して書く」、読むこと領域の※「自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉える」に課題があります。

※ このような学習です。（平成 29 年度授業アイデア例から）

### 心に響いた物語を推薦しよう（全7時間）

|   | 〈主な学習活動〉  | 〈指導上の留意点〉  |
|---|---|--|
| <b>学習過程</b><br><b>第一次</b><br>↓<br><b>第二次</b><br>↓<br><b>第三次</b> | ① 教師の提示した「すいせんカード」を基に、物語の魅力を見付ける視点を捉え、学習計画を立てる。<br><br>②③ 「きつねの写真」の魅力について話し合い、推薦理由を明らかにする。<br>④ 「すいせんカード」を書く。<br><br>⑤⑥ 自分が選んだ物語の魅力について考え、推薦理由を明らかにする。<br>⑦ 「すいせんカード」を書く。 | ■ 今までに読んだ物語の魅力を想起したり、教師のモデルを参考にしたりするなどして、登場人物の描かれ方、構成の工夫、表現の特色など物語の魅力を見付けるための視点を捉えることができるようにする。<br><br>■ 「きつねの写真」の中で、一番心に響いた場面や叙述を選び、その理由を伝えることで、互いの考えを交流することができるようにする。<br>■ 互いの考えの共通点や相違点を記録し、「すいせんカード」に生かすことができるようにする。<br><br>■ 「きつねの写真」で学習したことを確認することで、自分が選んだ物語の推薦理由を考えることができるようにする。<br>■ 推薦理由について、悩んでいることなどを中心に、友達と交流し、自分が選んだ物語の推薦理由を明確にすることができるようにする。 |

**ポイント**  
 関連する本を教室に常備し、児童がいつでも読むことができるように工夫することが大切です。また、児童の実態や付けたい力に適した本を、地域の図書館等と連携を図り、選書することが重要な教材研究となります。  
 学習後は各自が選んだ本に「すいせんカード」を添えて、学校図書館等に展示することで、児童が、目的をもって読むことができるようにすることが大切です。

「すいせんカード」の例

きつねの写真

あまんきみこ 作

あらすじ

一番心に響いた場面や叙述

推薦の文章（推薦理由）

文章の中から、心に響いた場面や叙述を見つけ、その理由を考える

Aさん

「あたりの木がいつせいにざざっと…」というところが不思議な感じがして、心に響いたよ。ここをこの物語の魅力として推薦したいんだけど、不思議なところはほかにもあるかもしれない。友達の考えも聞いてみよう。

心に響いた場面や叙述とその理由を明確にするために…

- 心に響く叙述を見付ける
  - ・ 登場人物の行動、会話、心情、相互関係
  - ・ 場面についての描写 など
- 複数の場面の叙述を相互に関係付ける
- 自分の知識や経験、読書体験などと結び付ける など

グループで交流し、自分の考えを明確にする

Aさん

「きつねの写真」の不思議なところを推薦しようと思っているんだけど…。

Bさん

どこから不思議だと思ったの。

Aさん

「あたりの木がいつせいにざざっと…」というところから、木が葉をゆすってとび吉を呼ぶなんて不思議な感じがすると思ったんだ。ほかにもあるかな。

Cさん

「まるでまっていたように…」というところも、林の中に戻っていったはずの松ぞうじさんが急に現れたから不思議だと思ったよ。

Bさん

そうか、Aさんは情景を、Cさんは登場人物の行動を基に考えたんだね。不思議な感じがする表現は物語全体に広がっているんだね。

Aさん

みんなの考えを聞いて、不思議なところが魅力だという推薦の理由がはっきりしてきたよ。もう一度この物語を読んで確かめてみるね。

交流を通して、自分の考えを明確にするために…

- 「自分の考えをより確かなものにしたい」、「ほかにもあるかもしれないから聞いてみたい」など、何のために交流するのかを児童が実感できるようにします。
- 自分の考えがどの叙述に基づいているのかを、児童が自覚することができるようにします。
- 自分の考えや交流したことをノートにメモすることで、自分の考えがどのように変わったのかを記録に残し、推薦の文章を書く際に活用できるようにします。
- 第三次で、自分が選んだ物語の魅力について交流する際は、次のような交流が考えられます。
  - ・ 同じ物語を選んだ児童同士で交流することで、同じ物語でもいろいろな考えや、感じ方があることに気付くことができるようにする。
  - ・ 違う物語を選んだ児童同士で交流することで、自分の考えた魅力が物語の魅力の視点（登場人物の描かれ方、構成の工夫、表現の特色など）に合っているか吟味することができるようにする。また、自分が選んだ物語と他の物語とを比較しながら考えをまとめることができるようにする。




## イ 小学校 算数

A問題では、数量関係領域の「資料から、二次元表の合計欄に入る数を求めることができる」は、よくできています。一方、数と計算領域の「1より小さい小数をかける乗法の問題場面を理解し、数量の関係を数直線に表すことができる」、量と測定領域の「任意単位による測定について理解している」に課題があります。

B問題では、数と計算領域の「直線の数とその間の数の関係に着目して、示された方法を問題場面に適用することができる」、数と計算及び数量関係領域の※「問題に示された2つの数量の関係を一般化して捉え、そのきまりを記述できる示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述できる」、量と測定領域の「示された説明を解釈し、用いられている考えを別の場面に適用して、その説明を記述できる」、「料金の差を求めるために、示された資料から必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる」、量と測定領域及び数量関係領域の「飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を判断することができる」に課題があります。

※ このような学習です。(平成29年度授業アイデア例から)

① 2けたのひき算の答えに着目し、分類整理することで、9の倍数になっていることに気付く。



教師

1から9までの数が書かれたカードが1枚ずつあります。  
この中から2枚のカードを選んで、次のような、  
カードを使った2けたのひき算の計算をしましょう。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

【カードを使った2けたのひき算】

選んだ2枚のカードを並べて、2けたの整数を2つつくり、大きい数から小さい数をひきます。  
例えば、①と⑤を選んだ場合、①⑤と並べると15が出来ます。⑤①と並べると51が出来ます。  
【2けたのひき算の式】 $51 - 15$  【2けたのひき算の答え】36

いろいろな式を立ててみると、答えが同じ式がいくつかあります。何かきまりがあるのかな。

2けたのひき算の答えが同じ式をまとめる。

|               |                |                |                |                |
|---------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| $21 - 12 = 9$ | $31 - 13 = 18$ | $41 - 14 = 27$ | $51 - 15 = 36$ | $71 - 17 = 54$ |
| $32 - 23 = 9$ | $42 - 24 = 18$ | $52 - 25 = 27$ | $62 - 26 = 36$ | $82 - 28 = 54$ |
|               | $53 - 35 = 18$ |                |                | $93 - 39 = 54$ |

答えが同じ式どうして整理してみました。  
2けたのひき算の答えは9の倍数になっています。

そのほかにも、「 $72 - 27 = 45$ 」, 「 $81 - 18 = 63$ 」, 「 $91 - 19 = 72$ 」となるように、2けたのひき算の答えは9の倍数になっています。

児童自らが情報を分類整理して共通点を見だし、見いだしたことがほかの場合についても当てはまるかどうかを調べようとする態度を育てることが大切です。

② 見いだした数量の関係を言葉や式に表し、その関係が成り立つ理由を、図を用いて考える。

2けたのひき算の答えが同じ式どうしてを見て、気付いたことはありますか。

2けたのひき算の答えが18のときは、カードの差が2です。

2けたのひき算の答えが54のとき、カードの差はすべて6になっています。

式に表すと  $2 \times 9 = 18$  です。

$9 \times 6 = 54$  です。

カードの差と2けたのひき算の答えには、きまりがありそうです。

カードの差を使って、2けたのひき算の答えを簡単に求めることができるきまりを説明しましょう。

4

## ウ 中学校 国語

A問題では、「伝統的な言語と文化の特質に関する事項領域の「文脈に即して漢字を正しく書く（雨で運動会がエンキになる）」、「行書の特徴を理解する」は、よくできています。一方、読むこと領域の「文章の構成や展開、表現の特徴について自分の考えをもつ」、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項領域の※「事象や行為などを表す多様な語句について理解する」、「古典には様々な種類の作品があることを知る」に課題があります。

B問題では、書くこと領域、読むこと領域及び伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項領域の「表現の仕方について捉え、自分の考えを書く」に課題があります。

※ このような学習です。（平成 29 年度授業アイデア例から）

### 第1時

（授業前の生徒の準備）学校生活の中やテレビの報道、新聞などから、「自分が使ってみたい語句」をノートに書き留めておく。

- ① ノートに書き留めてある「自分が使ってみたい語句」の中から、他の人に紹介する語句を決める。



教師

自分が使ってみたい語句の一つを取り上げ、スピーチをして紹介しましょう。取り上げる語句については、辞書などを使って意味を調べることができる語句かどうかを考えて選びましょう。また、実際に語句を使う場面や具体的な使い方も紹介できるようにしましょう。

#### 書き留めてある語句の例

- （学校生活の中から）「承認」、「否認」
- （新聞の見出しから）「激闘」、「歓喜」
- （季節の言葉から）「花あかり」、「うららか」など

- ② どのような意味をもつ語句なのかを調べ、どのような場面で使うのかについて考える。必要に応じて、似た意味をもつ語句などについても調べる。

「快挙」という語句を取り上げたいな。1組が合唱コンクールで優勝したことを表すのに使えそうだな。本当に使えるかどうか意味を調べて確かめてみよう。ほかにも、似たような意味の語句がありそうなので、調べてみる必要があるな。



#### 〔国語辞典などで調べた語句の例〕

快挙：胸がすくようなすばらしい行為。  
痛快：とても愉快なこと。  
偉業：立派な仕事。  
勝利：戦いに勝つこと。

- ③ 語句と使う場面とが合っているかどうかをペアまたはグループで検討する。



似た意味を表す語句でも、場面や状況によってどの語句が適切であるかを検討することが大切です。



「偉業」は、「立派な仕事。」という意味だね。合唱コンクールでの優勝も立派だけど、「偉業」は少し言い過ぎではないかな。

「痛快」は、「とても愉快なこと。」を表すのだね。周りの予想に反しての優勝だから使えないことはないけど、勝って心が晴れやかになったことを考えると、「快挙」の方が適切だと思うな。



### 第2時

- ④ 使う場面や具体的な使い方とともに語句を紹介する。

#### 〔スピーチの例〕



私が紹介する語句は、新聞記事の中で見付けた「快挙」という語句です。「快挙」は「胸がすくようなすばらしい行為。」という意味です。  
「あまり目立った活躍がなかった1組が、合唱コンクールで快挙を成し遂げました。」というように使います。「優勝しました」と表現するよりも、勝って心が晴れやかになったことが表現されていると思います。ちょうど今、特別活動で合唱コンクールについて振り返る文章を書いているので、実際に使ってみたいです。



エ 中学校 数学

A問題、B問題ともに、課題のある問題が多くあります。

A問題では特に、数と式領域の「加減乗除を含む正の数と負の数の計算において、計算のきまりにしたがって計算できる」、「具体的な場面で、一元一次方程式をつくることができる」、「簡単な連立二元一次方程式を解くことができる」、関数領域の「与えられた比例のグラフから、 $x$ と $y$ の関係を $y = a x$ の式で表すことができる」などに大きな課題があります。

B問題では特に、数と式領域の「与えられた説明の筋道を読み取り、事象を数学的に表現することができる」、※「2つの図形の関係を回転移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明することができる」、図形領域の「筋道を立てて考え、証明することができる」、「付加された条件の下で、図形の性質を用いることができる」、関数領域の「数学的な表現を事象に即して解釈し、的確に処理することができる」などに大きな課題があります。

※ このような学習です。(平成 29 年度授業アイデア例から)

万華鏡は筒状のおもちゃで、中に3枚の鏡を組み合わせた正三角柱が入っています。鏡が内側を向いているので、中をのぞくと、正三角柱の底面にある模様が周りの鏡に映って見えます。万華鏡をのぞいたときに見える万華鏡の模様を観察してみましょう。

**1. 万華鏡の模様について、図形の対称性に着目して観察する。**

教師：万華鏡をのぞいてみましょう。

生徒：きれいだね。 同じような模様が並んでいるよ。

教師：万華鏡の模様は、どうして美しく見えるのでしょうか。

生徒：正三角形の模様がたくさん並んでいるように見えるからかな。

生徒：たくさん並んでいる正三角形の模様のうち、隣り合う模様同士は折ると重なると思うよ。

生徒：それは、線対称な図形になっているということだね。

教師：隣り合う正三角形が線対称になっていることについて、対称軸を明らかにして説明してみましょう。

生徒：隣り合う2つの正三角形の模様の共通する辺を対称軸とする線対称な図形になっていると思います。

**2. 万華鏡の模様を図形の移動に着目して、2つの図形の関係を捉える。**

生徒：イの正三角形の模様はアの正三角形の模様をどのように移動したとみることができますか。

生徒：イの正三角形は、アの正三角形と共通する辺を対称の軸として移動したとみることができます。

生徒：本当だ！アの正三角形を基に対称移動を繰り返して、美しい模様が作られているということがわかるね。

教師：万華鏡の美しい模様の中に対称移動をみることができましたね。

**3. 移動前と移動後の2つの図形の間に成り立つ事柄を説明する。**

教師：アの正三角形の模様はどのような移動でウの正三角形の模様に重なりますか。

生徒：平行移動かな。

生徒：模様がずれてしまうよ。

生徒：1回の対称移動では重ならないね。

生徒：対称移動を何回か繰り返すと重なるね。



実際に万華鏡をのぞいたときに見えた模様





## (2) 児童・生徒質問紙調査結果から

### ① 概要

小学校、中学校共に全国の肯定的回答を上回った項目は、67項目中39項目ありました(下記②参照)。家族や地域の一員として生活し、学校へも楽しく通う、優しさあふれる小・中学生であることが分かります。

読書に関しては、小中学生とも「読書が好き」という肯定的回答が全国よりも多い状況で、「読書を全くしない」という回答は全国よりも少ない状況です。(下記③参照)

小学生の学習面においては、昨年度に引き続き、国語や算数の勉強が将来社会に出たときに役立つものであると思っている児童が多い状況です。また、国語の授業、算数の授業が「分かる」と回答している児童も全国を上回っています。家庭で過ごす時間の使い方においては、普段の家庭学習の時間については、2時間以上学習している児童が、全国で約27%ですが、遠野の児童は15%程度です(昨年度よりは3ポイント改善)。 普段のテレビ等の視聴時間については、2時間以上の児童が全国では約56%ですが、遠野の児童は約61%で、全国よりやや多い状況にあります(昨年度よりは8ポイント改善)。(下記④参照) 携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットの使用時間については、1時間以上使用している児童が、全国では約21%ですが、遠野の児童は約15%で、昨年度よりも4ポイント増加していますが、全国に比べて少ない状況にあります。(下記④参照)

遠野の小学生の良さが全国と比較して顕著に表れた項目(「当てはまる」等の回答が、全国を5ポイント以上上回った生活面、ものの見方・考え方、行動に関する項目)は、「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」、「家で、学校の授業の復習をしている」、「学級などの話し合い活動で、学自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか」、「地域の行事に参加している」などです。全国を5ポイント以上上回った項目はありませんでした。

中学生の学習面においては、国語の勉強が大切だと思っている生徒が全国に比べて多い状況です。しかし、数学については、勉強が大切だと思っている生徒は全国に比べ少なく、授業が「分かる」と回答している生徒も下回ります。ただし、「数学ができるようになりたい」と回答している生徒は、全国に比べ多い状況です。家庭で過ごす時間の使い方においては、普段の家庭学習の時間については、2時間以上学習している生徒が全国で約35%ですが、遠野市の生徒は8%程度です。(下記④参照) 遠野の中学生は、家庭学習の習慣はあるが、取組時間が2時間未満である生徒が多く、全国に比べ短時間の傾向にあります。普段のテレビ等の視聴時間については、3時間以上の生徒が全国では約25%ですが、遠野市の生徒は約35%で、全国よりやや多い状況にあります。(下記④参照) 昨年度は前年度より約3ポイント減少し改善傾向が見られていましたが、今年度は昨年度より約4ポイント増加しています。携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットの使用時間については、2時間以上使用している生徒が、全国では約32%ですが、遠野市の生徒は約34%で、やや多い状況にあります。(下記④参照)

遠野の中学生の良さが全国と比較して顕著に表れた項目(「当てはまる」等の回答が、全国を5ポイント以上上回った生活面、ものの見方・考え方、行動に関する項目)は、「学級などの話し合い活動で、学自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか」、「地域への行事の参加」、「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」、「地域や社会をよくするために何を



すべきか考えることがありますか」などです。(下記②④参照)。また、全国と比較して「当てはまる」等の回答が、全国を5ポイント以上下回ったのは、「家で、学校の授業の予習をする」、「将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いてみたいと思いますか」の2項目です。

**② 小学校・中学校共に全国の肯定的回答を上回った項目 ※☆は新規, ★は昨年度から継続**

|   |  |
|---|--|
| ★ | 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか   |
| ★ | 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか   |
| ★ | 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか   |
| ☆ | 友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができますか   |
| ☆ | 家の人(兄弟姉妹を除く)は、授業参観や運動会などの学校行事に来ますか   |
| ☆ | 家で、自分で計画を立てて勉強していますか   |
| ☆ | 学校に行くのは楽しいと思いますか   |
| ☆ | 学校で、友達に会うのは楽しいと思いますか   |
| ☆ | 学校で、好きな授業がありますか  |
| ★ | 学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか                   |
| ★ | 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか   |
| ☆ | 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか   |
| ★ | 今住んでいる地域の行事に参加していますか   |
| ★ | 地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか  |
| ☆ | 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか  |
| ★ | 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか   |
| ☆ | 地域の大人(学校や塾・習い事の先生を除く)に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか                             |
| ☆ | 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか   |
| ★ | 学校のきまり(中は規則)を守っていますか   |
| ★ | 友達との約束を守っていますか   |
| ★ | 人が困っているときは、進んで助けていますか  |
| ★ | いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか   |
| ☆ | 人の役に立つ人間になりたいと思いますか  |
| ☆ | 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか                         |
| ★ | 前学年までに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか           |
| ★ | 前学年までに受けた授業では、児童生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか  |
| ★ | 前学年までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んだと思いますか |
| ★ | 前学年までに受けた授業で、児童生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか         |
| ★ | 前学年までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか           |
| ★ | 前学年までに受けた授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか  |
| ★ | 前学年までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか  |
| ★ | 前学年までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか                                   |
| ★ | 前学年までに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか                         |
| ☆ | 前学年までに受けた授業や課題活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか                                 |



|   |   |
|---|---|
| ★ | 学級の友達と(中は生徒)の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか |
| ★ | 国語の勉強は好きですか   |
| ☆ | 国語の勉強は大切だと思いますか   |
| ★ | 国語の授業内容はよく分かりますか  |
| ★ | 読書は好きですか  |
| ★ | 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか                       |
| ★ | 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか                   |
| ★ | 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか                |
| ★ | 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか                 |
| ☆ | 算数(数学)の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか                     |
| ★ | 算数(数学)の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか                   |
| ☆ | 算数(数学)の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか                  |
| ☆ | 算数(数学)の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか                    |

### ③ 読書の状況

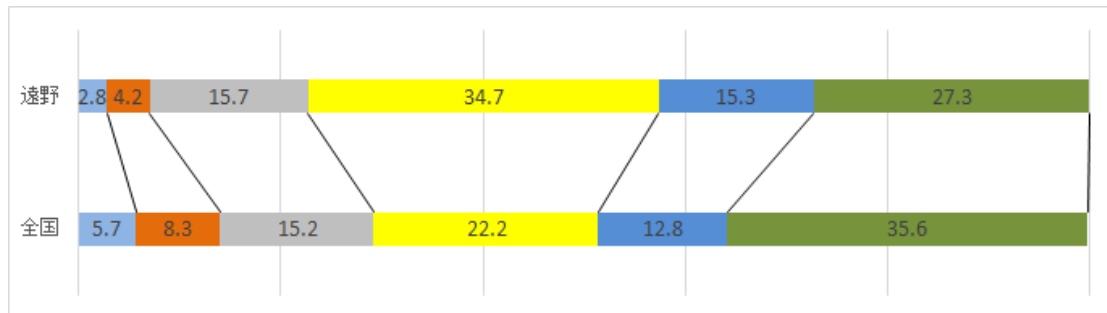
家や図書館で、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌除く)

※ ■ 2時間～ ■ 1時間～ ■ 30分～ ■ 10分～ ■ ～10分 ■ 全くしない

#### ア 小学校



#### イ 中学校



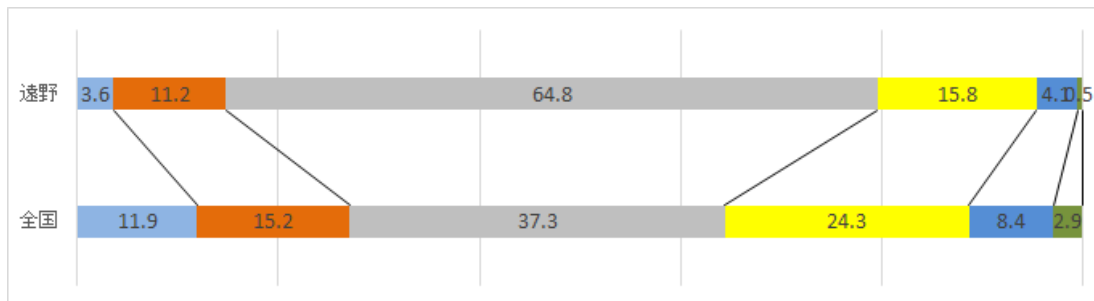
#### ④ 校種別主な項目の状況

##### ア 小学校

##### ◆ 学習に関する項目

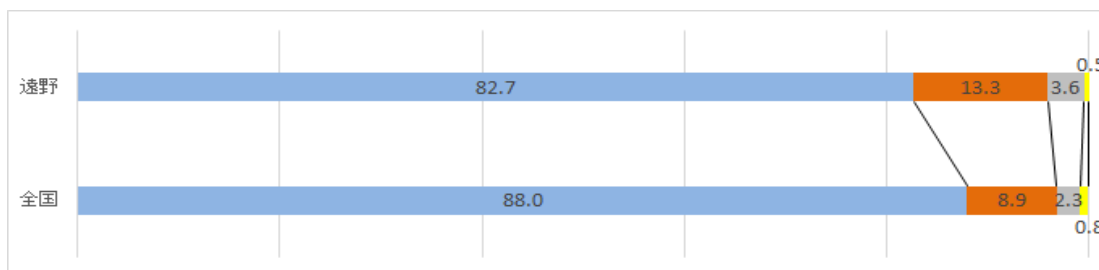
i 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師含む）

※ 3時間～ 2時間～ 1時間～ 30分～ 30分未満 全くしない



ii 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。

※ している どちらかといえば、している あまりしていない 全くしていない



iii 国語の勉強は大切だと思いますか。（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）

|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 遠野市 | 93.8% | 全国 | 91.2% |
|-----|-------|----|-------|

iv 国語の授業の内容はよく分かりますか。（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）

|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 遠野市 | 85.2% | 全国 | 82.2% |
|-----|-------|----|-------|

v 算数の勉強は大切だと思いますか。（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）

|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 遠野市 | 93.9% | 全国 | 92.0% |
|-----|-------|----|-------|

vi 算数の授業の内容はよく分かりますか。（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）

|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 遠野市 | 84.7% | 全国 | 80.6% |
|-----|-------|----|-------|

vii 家で、学校の宿題をしていますか。（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）

|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 遠野市 | 96.0% | 全国 | 96.9% |
|-----|-------|----|-------|

viii 家で、学校の授業の予習をしていますか。（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）

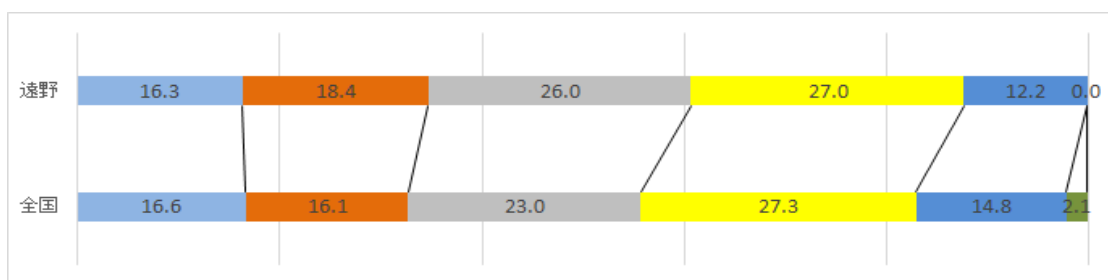
|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 遠野市 | 45.4% | 全国 | 41.0% |
|-----|-------|----|-------|

ix 家で、学校の授業の復習をしていますか。（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）

|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 遠野市 | 70.4% | 全国 | 53.8% |
|-----|-------|----|-------|

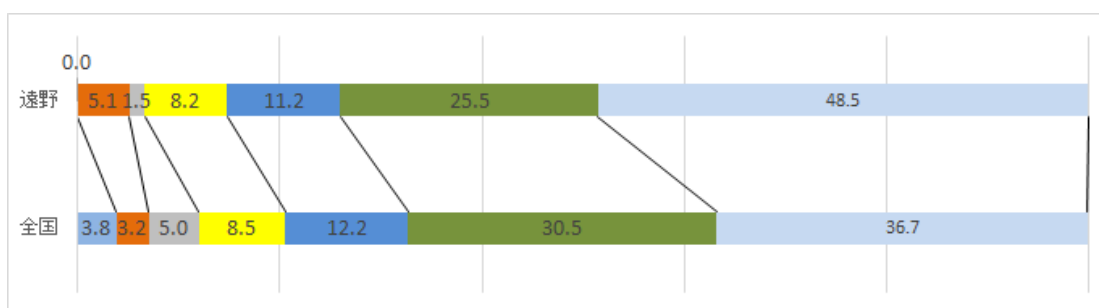
x 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVD を見たり、聞いたりしますか。

※ 4時間～ 3時間～ 2時間～ 1時間～ ～1時間 全くしない



xi 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。

※ 4時間～ 3時間～ 2時間～ 1時間～ 30分～ ～30分 持っていない



### ◆ 遠野市の子もたちの良さが特に表れている項目

※「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」等、肯定的回答の割合が全国比5ポイント以上上回っている項目)

i あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級の決まりなどを決めていていると思いますか。

|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 遠野市 | 91.6% | 全国 | 81.8% |
|-----|-------|----|-------|

ii 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことはありますか。

|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 遠野市 | 92.6% | 全国 | 86.3% |
|-----|-------|----|-------|

iii 今住んでいる地域の行事に参加していますか。

|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 遠野市 | 80.8% | 全国 | 67.9% |
|-----|-------|----|-------|

iv 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。

|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 遠野市 | 67.0% | 全国 | 60.7% |
|-----|-------|----|-------|

v テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか。

|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 遠野市 | 91.6% | 全国 | 86.4% |
|-----|-------|----|-------|



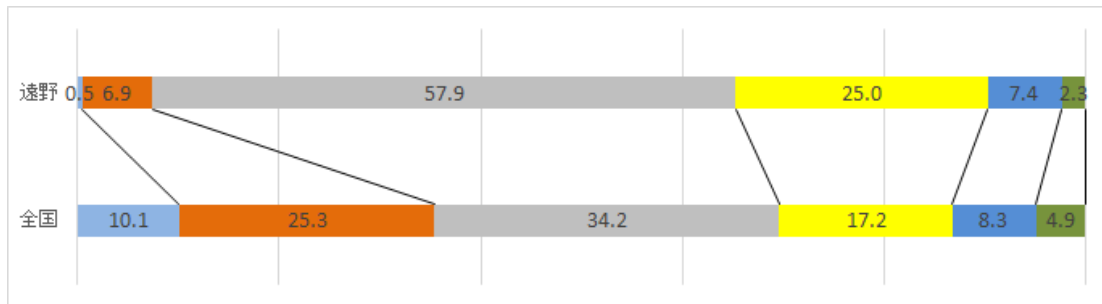


## イ 中学校

### ◆ 学習に関する項目

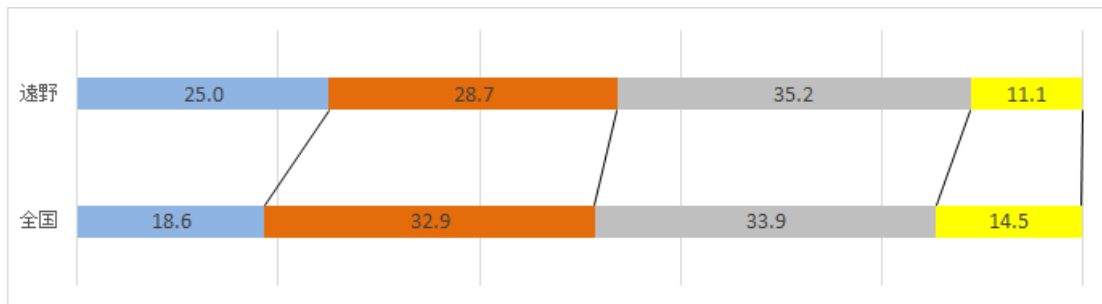
i 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師含む）

※ 3時間～ 2時間～ 1時間～ 30分～ 30分未満 全くしない



ii 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。

※ している どちらかといえば、している あまりしていない 全くしていない



iii 国語の勉強は大切だと思いますか。（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）

|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 遠野市 | 91.2% | 全国 | 88.8% |
|-----|-------|----|-------|

iv 国語の授業の内容はよく分かりますか。（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）

|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 遠野市 | 77.7% | 全国 | 74.9% |
|-----|-------|----|-------|

v 数学ができるようになりたいですか。（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）

|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 遠野市 | 92.1% | 全国 | 91.2% |
|-----|-------|----|-------|

vi 数学の授業の内容はよく分かりますか。（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）

|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 遠野市 | 62.9% | 全国 | 69.4% |
|-----|-------|----|-------|

vii 家で、学校の宿題をしていますか。（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）

|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 遠野市 | 91.6% | 全国 | 89.5% |
|-----|-------|----|-------|

viii 家で、学校の授業の予習をしていますか。（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）

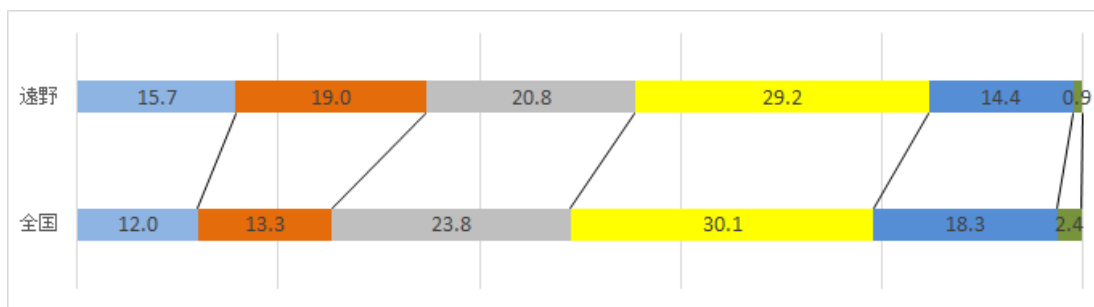
|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 遠野市 | 17.2% | 全国 | 31.7% |
|-----|-------|----|-------|

ix 家で、学校の授業の復習をしていますか。（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）

|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 遠野市 | 48.6% | 全国 | 50.5% |
|-----|-------|----|-------|

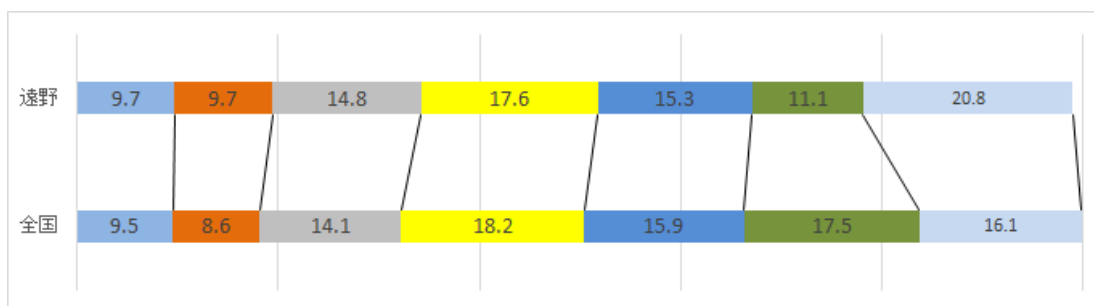
x 普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間，テレビやビデオ・DVD を見たり，聞いたりしますか。

※ 4時間～ 3時間～ 2時間～ 1時間～ ～1時間 全くしない



xi 普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間，携帯電話やスマートフォンで通話やメール，インターネットをしますか。

※ 4時間～ 3時間～ 2時間～ 1時間～ 30分～ ～30分 持っていない



#### ◆ 遠野市の子どもたちの良さが特に表れている項目

※「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」等，肯定的回答の割合が全国比5ポイント以上上回っている項目)

i 今住んでいる地域の行事に参加していますか。

|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 遠野市 | 81.5% | 全国 | 42.1% |
|-----|-------|----|-------|

ii 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。

|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 遠野市 | 70.4% | 全国 | 59.2% |
|-----|-------|----|-------|

iii 人が困っているときは，進んで助けていますか。

|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 遠野市 | 93.5% | 全国 | 84.4% |
|-----|-------|----|-------|

iv 授業で学んだことを，ほかの学習や普段の生活に生かしていますか。

|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 遠野市 | 78.3% | 全国 | 70.9% |
|-----|-------|----|-------|

v 学級みんなで協力して何かをやり遂げ，うれしかったことがありますか。

|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 遠野市 | 92.1% | 全国 | 86.0% |
|-----|-------|----|-------|



## 7 改善に向けて

今年度の調査から、遠野市の学校教育目標である「知・徳・体のバランスのとれた人間形成～ふるさと遠野や日本、世界の発展に貢献する人材の育成～」に向けて、学校、家庭、地域の努力により「徳」については、昨年度以上に十分な成果をあげているととらえています。課題は、数学の結果から分かるとおり学習面です。積み重ねが大切であるとされている教科に課題があることから、小学校から中学校までの義務教育9年間での系統的、継続的な学習の取組が今後も重要であるととらえています。

以上のことから、下記の点に取り組んでいきます。

### (1) 遠野市教育委員会では

- ・中学校区ごと、小中共通の課題に基づく授業実践及び授業交流会の実施（5年目の取り組み）  
（学力向上対策会議，学力向上研究員部会，遠野市教育研究所教育研究発表会）
  - ・各校への指導主事等による指導・助言
  - ・学校公開研究会
  - ・指導力向上のための各種研修会等の実施
  - ・中学校に特定教科学習支援員を配置（数学）
  - ・中学3年生の英語検定受験費用の全額補助（希望者には試験対策講座の実施）ならびに、中学1・2年には英検I B Aテストの実施
- ※英検I B Aテスト…英検の試験と同様の問題構成の模試であり、自分の現在の英語力が英検何級相当であるかを判定できるテスト



### (2) 各学校では

- ・授業改善（中学校区の研究，校内研究，一人一授業等）【重点】
- ・授業と家庭学習の連動【重点】
- ・結果の分析
- ・年度内での補習
- ・「まなびフェスト」等での家庭との連携の取組

## 8 各家庭・地域の皆さんへ

家庭や地域の中で、健全に成長している姿が調査の結果から伺えます。今後も、学校と連携し、子どもたちの健やかな成長のためにご協力をお願いします。

生活面では、小学生、中学生ともにテレビの視聴時間及び携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを使用する時間が全国に比べ長い傾向があります。家庭内での生活について子どもと話し合ってみてください。同時に、家庭学習の時間についても話し合い、家庭学習時間の約束を子どもに決めさせてください。調査結果から、学習に対して前向きな気持ちは見受けられますので、その思いを行動につなげ、徹底した取組ができるよう、引き続き支援をお願いします。